

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：R8年 2月 13日

事業所名：キート寺治北クラス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分		チェック項目	事業所や現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
			№	Impact レベル	達成 状況	№	Impact レベル	達成 状況		
環境・ 体制 整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	5	1	スペースを分けて活動している。	21	1	体が大きくなると狭い	使う時間を活動内容や、学年で分けるようにしている。	
	2	職員の適切な配置	6		活動内容によって配置場所を考えている。	21				
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	3	過ごしやすいうちに、特性に応じて視覚化やスケジュールの構成をしている。	21				
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	6		毎日の掃除と消毒で清潔な環境を保っている。	21				
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	6		全員で振り返りを行うようにしている。					
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	3	3	外部評価は取り入れていないが、今後検討していく。				今後検討していく。	
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	6		研修の参加を促している。					
適切な支援の提供（ 続き）	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	6		ホームページで公表している。	21				
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6		ニーズや課題を話し合って作成している。	21				
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	6		ガイドラインに基づき、具体的な支援内容を記載している。	21				
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	6		性格や特性に合った計画を作成している。					
	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	6		計画に沿った支援を行っている。	21				
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	6		担当が立案し、それをもとに全員で話し合っている。					
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	6		こどもたちの意見も取り入れながら、いろいろな体験ができるように工夫している。	21				
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	5		その時々に応じた課題を設定し支援をしている。					
	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	6		朝会で話し合い確認している。					
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気づいた点などの情報の共有化	1	5	その都度情報共有しているが、十分ではない。次の日の朝会でしっかりと共有するようにしている。				その日のうちに情報を共有した方がいいことについては、しっかりと共有できるようにしていく。	
	11	日々の支援に際しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	6		毎日記録をとり、支援の検証や改善につなげている。					
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6		家庭や学校での様子を聞いたり、職員で話し合いを行い、見直しの必要性を判断している。					
関係機関との 連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	6		児童発達支援管理責任者が参加している。					
	2	（国産的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			該当なし					
	3	（国産的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			該当なし					
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小・中学校）等との間での支援内容等の十分な情報共有	6		しっかりと情報共有出来ているところと、不十分なところがある。					
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6		移行の際は希望があれば会議を行い、情報を共有するようにしている。					
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	4	2	研修には参加するようにしている。					
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の確保	4	2	児童館に行くなど交流の機会を設けているが、頻度は少ない。	11	1	1	8 交流の機会が少ないため、少しずつ増やす機会を設けることを検討していく。	
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	1	3	2 招待するようなイベントは行っていない。				イベントは行っていないが、挨拶を行い、地域住民と触れ合えるようにしている。	
保護者への 説明責任・ 連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	6		契約時に行っている。	21				
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6		行っている。	21				
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレントトレーニング等の支援の実施	4	2	ペアレントトレーニングは行っていないが、相談があった時には、時間を設け話をするようにしている。	14	3	1	3	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	6		必要時や送迎の時に、状況を伝えあっている。	21				
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6		電話や対面に対応している。	21				
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	2	3	1 保護者会は行っていないが、親子活動を行い、保護者の交流を図る機会を設けている。	8	4	3	6	保護者の要望を確認しながら検討していきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	6		苦情対応マニュアルに沿って対応するようにしている。	20		1		
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	6		伝わりやすく説明するように心がけている。	21				
	9	定期的な食糧等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	5	1	ホームページやインスタで情報を発信するようにしている。	21				
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	6		個人情報に関する契約書をお互にたり、個人情報には十分の注意を払っている。	21				
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	6		策定し周知している。	20		1		
	2	非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	6		地震、火災、津波などいろいろな災害を想定して訓練を行っている。	20	1			
	3	感染症や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	6		契約時に確認し、薬などに変更がある場合はその都度教えてもらっている。					
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	1	1 保護者に確認しアレルギーを把握している。					
	5	安全管理の徹底	6		研修や訓練を行ったり、建物や遊具に不備がないが毎月点検している。					
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	6		安全計画を配布し周知している。	21				
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	6		ヒヤリハットを作成し、振り返りをおこなっている。					
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	6		定期的に研修をおこなっている。					
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における継続的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	6		保護者の希望により、状況に応じて保護者を利用しているが、支援計画に記載し署名をもらっている。					